

壮観！縄文杉で森林教室

『保全センターでは、七月二六日縄文杉をバックに鹿兒島県内の小・中・高校生一〇二名を対象に森林教室を開きました。』

森林教室では、職員手作りのハンドブックをもとに、小島調整官と迫田所長が講師になり、屋久島の概要、屋久島の自然と人との関わり、世界自然遺産、林業と自然保護の両立、縄文杉と着生植物等について説明しました。



この森林教室は、鹿兒島県立青少年センターが、世界自然遺産に登録された屋久島、鉄砲伝来と宇宙センターの地種子島を探訪し、登山や野営等の野外活動を通じて、自然環境・先端科学・伝承文化等の素晴らしさを学ぶとともに、困難に打勝つ心や体を養い、連帯感・強調性を培い、思いやりのある青少年を育成する目的で七月二二日から一〇日間の日程で実施した「郷土の自然に挑むアドベンチャーの旅」の活動のひとつとして、同センターの依頼により開いたものです。

白谷雲水峡

水源の森百選に認定

林野庁は七月二四日、我が国の代表的な水源の森を選定し、森林の保全と整備に対する関心を高めてもらうことを目的として「水源の森百選」を発表しました。

鹿兒島県からは、上屋久町の白谷川を中心とする宮之浦

岳国有林と、大口市の奥十曾風致探勝林が、選定されました。

白谷川流域は、上流付近に自然休養林「白谷雲水峡」をはじめ、照葉樹林やヤクスギの原生林などが容易に観賞することができ、また、白谷川

屋久島の植物



(ヤクシマアジサイ)

屋久島の山地に自生する落葉低木、高さは一メートル内外、枝はやや細く褐色、葉は対生し長楕円形、縁には鋭い鋸歯がある。質はうすく、表面には艶がない。小枝の頂きに小さな花が多数集まって咲き、周囲に大きながく片をつけ、雄しべや雌しべの退化した、うす紫の飾り花が目立つ六月から七月にかけて開花します。

保護林での調査等は許可制に

屋久島国有林には、森林生態系保護地域として、一万五千ヘクタールの保護林を設定しています。

森林生態系保護地域は、原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発表、学術研究等に資することを目的として設定されたものです。

今回、熊本管林局長通達により、今後の保護林内における調査研究に当たっては、管林局長又は、管林署長の許可が必要となります。

これにより、これまで各研究機関が個別に行っていた屋久島国有林に関する調査研究等について、当保全センター

卒所記念に 縄文杉登山

七月二六日当保全センター職員が、縄文杉をパトロール中、福岡県の小学四年生四名と、引率の大人二名が登ってきました。

話を聞いてみると、四名は「すみれ学童保育所」の四年生で、国語の教科書で屋久島の杉の木のことを習ったので、卒所旅行に縄文杉を見学にしたとのことでした。

職員から、屋久島の自然・縄文杉等の説明を受け、熱心に聞き入っていました。帰り際の「縄文杉よいつまでも元気でね。」の言葉がとても印象的でした。



が調整役となり、より適正な保護林の管理運営を行う事ができます。

また、研究成果や研究論文等の印刷物については、調査者等の同意のもとに、資料を保全センターに提供していただき、研究者等へ広く利用していただくことにしています。